

基本施策 24 地域特性を活かしたまちづくりの推進

【施策統括課：都市計画課】

<現状と課題>

- 国立の市域は、かつて甲州街道を中心とする農村地帯から発展した南部地域と、大正時代の末期以降に民間開発により整備された北部地域という都市形成の過程が大きく異なる2つの地域に大別でき、まちなみや都市景観の特徴も両地域では大きく異なっています。
- このうち、南部地域は崖線の樹林地や湧水を源とする水と緑に恵まれた自然的景観と、谷保天満宮や南養寺、城山等の歴史的景観を兼ね備えています。一方、北部地域は国立駅を中心に大学通り、富士見通り、旭通りが放射状に伸び、その沿道に整然としたまちなみが形成され、市内外に「文教都市くにたち」を象徴する良好な都市景観を強く印象づけています。また、大正15(1926)年に竣工した「旧国立駅舎」は、解体前は原宿駅舎に次いで現存する2番目に古い木造駅舎であり、国立市の景観における象徴の一つでした。
- 国立市では、かつて平成の初め頃(1990年代前半)に大学通りに計画された高層マンションの建設をきっかけとして、全国でも早くから都市景観の形成に注力してきました。平成8(1996)年11月には、都市景観形成の目標と方針を定め、これを実現するための方策を明らかにした「国立市都市景観形成基本計画」を策定しています。
- 平成10(1998)年4月には、「文教都市くにたち」にふさわしく美しい都市景観を守り、育て、つくることを目的に「国立市都市景観形成条例」を施行し、良好な景観の保全・形成が図られるよう指導を行っているほか、大学通り沿道地域(一橋大学から江戸街道まで)を「都市景観形成重点地区²³」に指定しています。
- 平成26(2014)年度に実施した「第15回国立市政世論調査」によると、国立市に「ずっと住み続けたい」、「当分住み続けたい」と回答した人に対してその理由を質問したところ、「まちなみ・景観が美しいから」が35.6%で2番目に高い回答比率となっています。
- より多くの人々からこれからも住み続けたい・ぜひ住んでみたいと強く支持され、「文教都市くにたち」としての付加価値の向上にも結びつくよう、各地域の特性に応じた秩序あるまちなみを将来にわたって大切に守り、育て、つくるためのまちづくりを積極的かつきめ細やかに推進する必要があるため、都市計画マスタープランにおけるまちづくりの将来像の実現に寄与することを目的に、「国立市まちづくり条例」を制定します。

<施策の目的及び体系>

良好なまちなみや美しい景観を後世へ引き継ぐとともに、市民や事業者との連携の下、各地域の特性を活かし、まとまりのあるまちづくりを推進します。

基本施策24 地域特性を活かしたまちづくりの推進

展開方向1 良好なまちなみ・景観の保全

展開方向2 地域特性を活かしたまちなみの形成

²³ 一定規模以上の大規模行為は、建築確認申請の前に、国立市都市景観形成条例第26条に基づき、市への届出が必要であり、重点地区においては、戸建住宅等の小規模な建築行為等の場合でも、同条例第15条に基づき、市への届出が必要となっている。

＜展開方向 1：良好なまちなみ・景観の保全＞

【目的】

「文教都市くにたち」にふさわしい良好なまちなみや景観を守り、育て、つくります。

【手段】

- ◆事業者が土地利用を行う際の手続き及び基準等を定めた「国立市まちづくり条例」の運用を通じ、全市を対象に良好なまちなみの形成を誘導します。
- ◆国立らしい良好な住環境の下で、ゆとりある住生活を送れるよう、快適な住環境の創出を誘導します。
- ◆今後も引き続き、市民・事業者等に「国立市都市景観形成条例」に基づく景観形成基準の遵守を求め、良好な景観の保全・形成を誘導します。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	単位	指標の説明又は出典元	実績値	目標値	
				H31年	H35年
まちづくり条例に基づく事業者との協定締結の件数(累計)	件	同左	—	104	208
都市景観形成条例に基づく届出の件数(累計)	件	同左	590 (H26年)	765	905

＜展開方向 2：地域特性を活かしたまちなみの形成＞

【目的】

国立らしいまちなみや景観をさらに向上させていくために、市民と行政が連携して、地域特性にふさわしいまちづくりを推進します。

【手段】

- ◆市民が自発的に地域特性にふさわしいまちづくりを進めるために、まちづくり条例による地区まちづくり計画の策定を推進します。
- ◆各地区の特性に合った良好な景観の保全に向け、重点地区の指定を推進します。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	単位	指標の説明又は出典元	実績値	目標値	
				H31年	H35年
地区まちづくり計画を策定した地区の数(累計)	地区	同左	—	2	4
都市計画形成重点地区を指定した地区の数(累計)	地区	同左	2 (H26年)	3	4